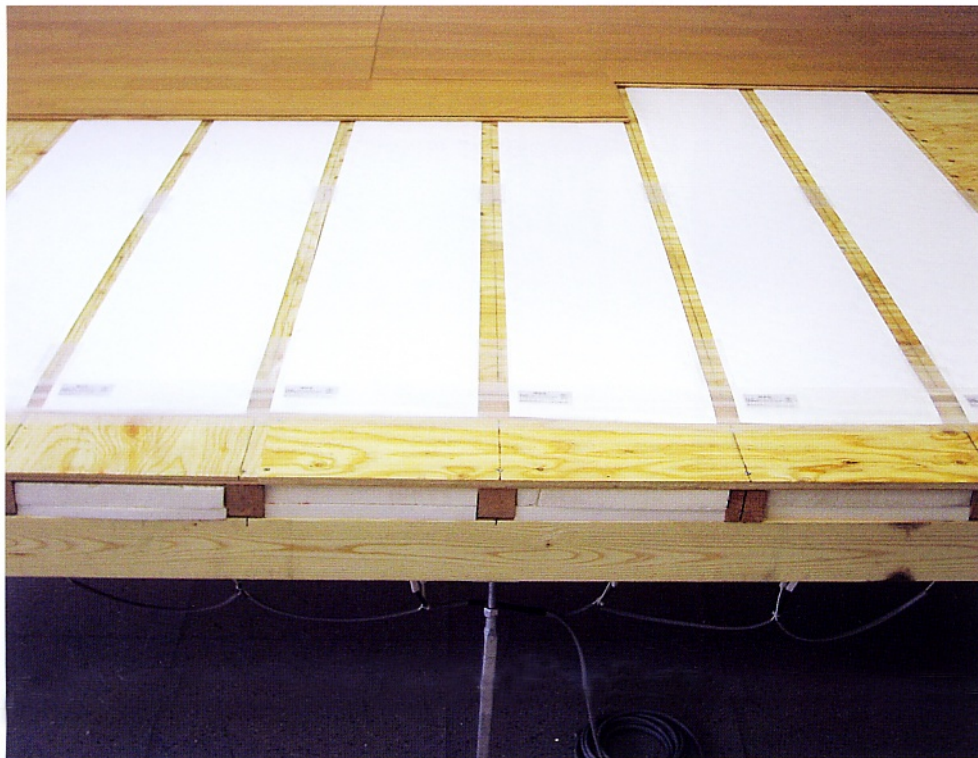


遠赤外線床暖房「ぽから」

施工マニュアル「施工概略図 & 結線図」

■ 施工概略図



■ 結線図

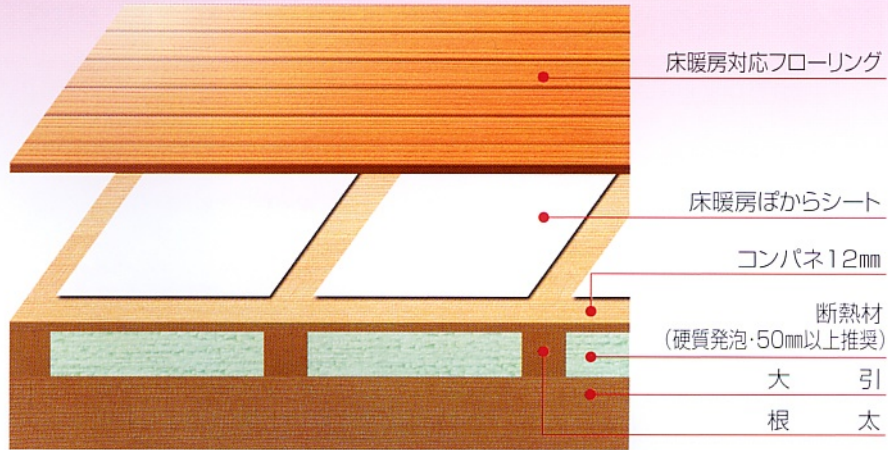


仕上げ材別施工図

■仕上げ材別 施工図

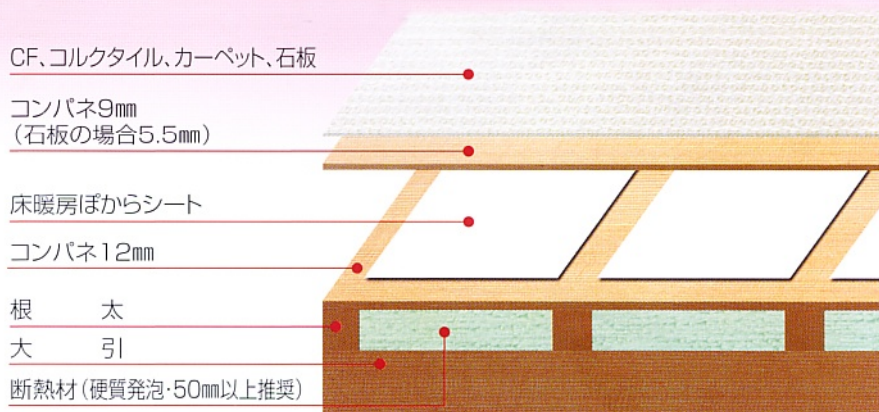
●フローリング施工図

WOOD FLOOR



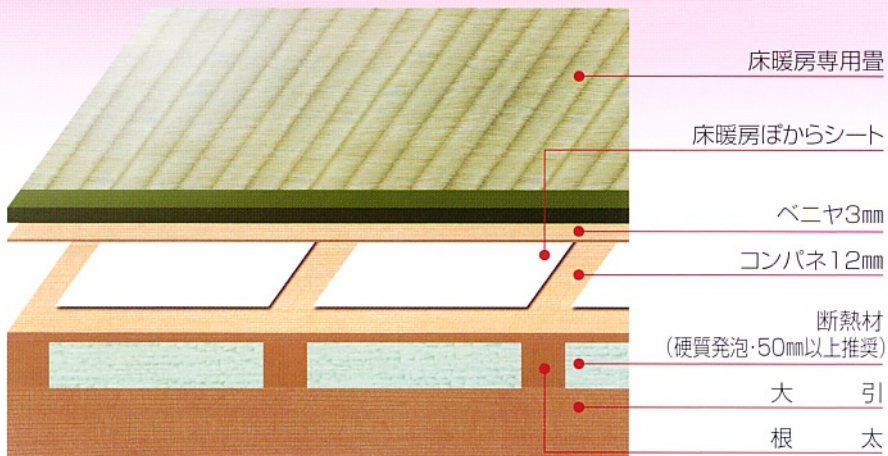
●クッションフロア、コルクタイル、石板施工図

CUSHION FLOOR



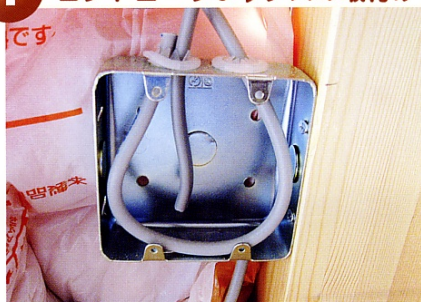
●畳施工図

TATAMI



施工手順

1 一次配線と コントローラボックスの取付け



コントローラ取付け位置 (床から1200mm程度) を決め、壁にJISスイッチボックス2個用深型 (現場調達) を取付け、一次側電源コードを引き込みます。

2 下地の調整 (釘の頭)



下地は乾燥材を使い、釘の頭や針金が出ていないかを確認し、あればハンマーなどで平滑にします。

3 下地の調整 (段差や節)



構造用合板 (コンクリートパネル) の継ぎ目の段差や節を取る為、カンナなどで平滑にします。

4 下地の調整 (段差や節)



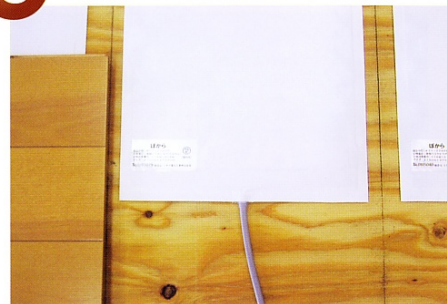
構造用合板 (コンクリートパネル) の継ぎ目の段差や節を取る為、サンダーなどで平滑にします。

5 仕上げ材 (フローリング) の墨出し



フローリング貼り出し位置を出し、フローリングの継ぎ目が⑥のような位置となるようにします。

6 下地切断位置の確認



⑤のフローリング貼り出し位置から⑦の下地切断位置を確認し、継ぎ目が重ならないようにします。

床上配線の場合

7 下地の切断



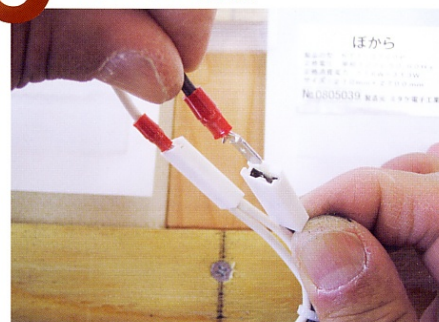
⑥のぼからシート上部の配線経路を幅80mmで丸ノコを使い切断します。

8 掃除



⑦下地を切断して出た木くずなどを掃除機で吸い取ります。

9 コネクタの接続



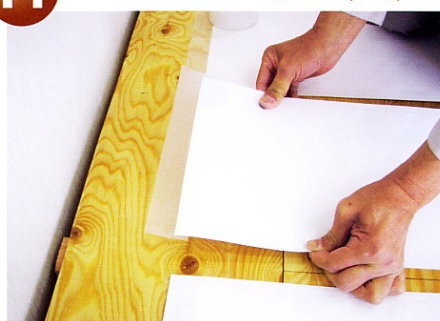
ぼからシートを⑦の溝に仮置きし、追線と同色どうして「カチッ」と音がするまで差し込みます。(向きに注意!!)

10 ぼからシートの仮止め (上部)



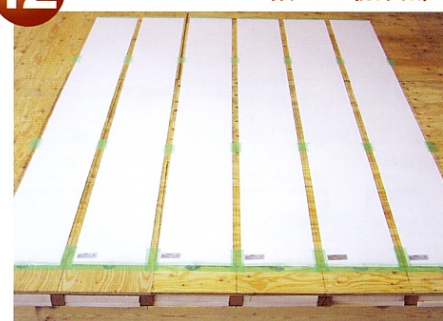
⑦の配線経路を全て養生テープで止めます。

11 ぼからシートの仮止め (下部)



ぼからシートの下部をたるみが出ないように引っ張りながら、養生テープで止めます。

12 ぼからシートの仮止め (数ヶ所)



ぼからシートの横部分を1mおきに10cm程度の養生テープで止めます。

床上配線の場合

7 下地の切断



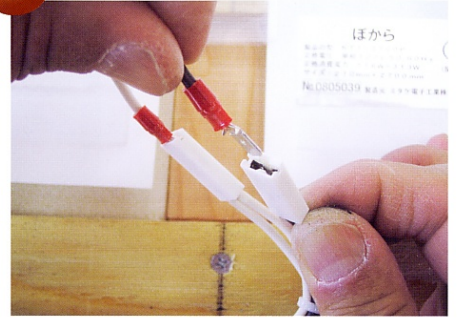
⑥のぼからシート上部の配線経路を幅80mmで丸ノコを使い切断します。

8 掃除



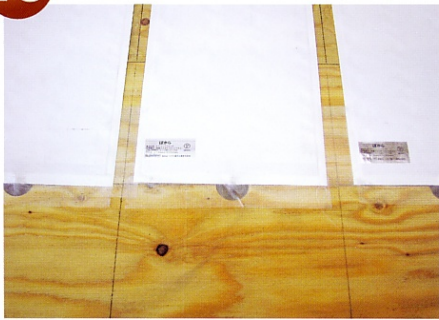
⑦下地を切断して出た木くずなどを掃除機で吸い取ります。

9 コネクタの接続



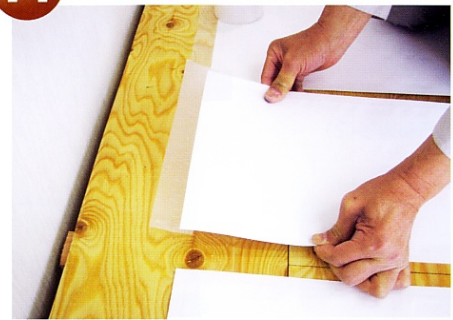
ぼからシートを⑦の溝に仮置きし、追線と同色どうして「カチッ」と音がするまで差し込みます。(向きに注意!!)

10 ぼからシートの仮止め(上部)



⑦であけた穴を含めて養生テープで止めます。

11 ぼからシートの仮止め(下部)



ぼからシートの下部をたるみが出ないように引っ張りながら、養生テープで止めます。

12 ぼからシートの仮止め(数ヶ所)



ぼからシートの横部分を1mおきに10cm程度の養生テープで止めます。

アース付ぼからの施工方法(施工方法は上記と同じです)

床上配線の場合



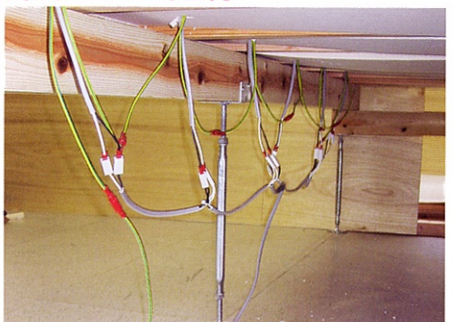
⑦の配線経路にぼからシートのリード線と追線、アース線をぼからシートの下に凸部とならないように収め、養生テープで止めます。

床下配線の場合



ぼからシートからのリード線とアース線が収まるよう60φの穴をあけ、床下に落とし養生テープで止めます。

床下での結線



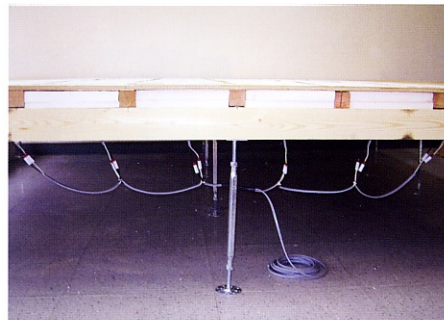
追線とアース線を本表紙を参考に接続します。
※ジョイントボックス使用

電気試験・仕上材の施工へ



電気試験合格後、仕上材の施工を行います。

コネクタの接続



床下でぼからシートのリード線と追線を同色どうして「カチッ」と音がするまで差し込みます(向きに注意!!)

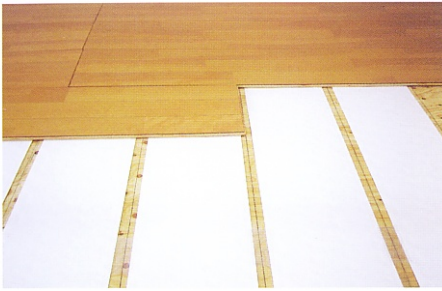
接着剤の使用



フロアを貼る際はぼからシート間に必ず接着剤を使用して下さい。特にシート上部は多めに使用して下さい。

仕上材別施工方法

〔1〕フローリング



ぼからシートとフローリングの長手が垂直になるように敷設します。

- 釘(手打ち)と接着剤併用施工を行います。
- ぼからシート上下面には接着剤をつけないで下さい。

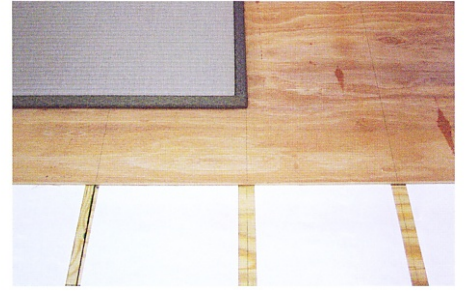
〔2〕クッションフロア、コルクタイル、石板



ぼからシート上にベニヤ9mm(石板の場合5.5mm)をビス止めし、その上から耐熱用接着剤で貼ります。

- ① ぼからシートのない根太上に地墨をつけます。
- ② 結線部分を拾い印(斜線)をつけます。
- ③ 結線部分以外の根太上地墨部分をビスで止めます。
- ④ 上貼りベニヤ上に耐熱用接着剤で塗り、各仕上材を施工します。

〔3〕畳



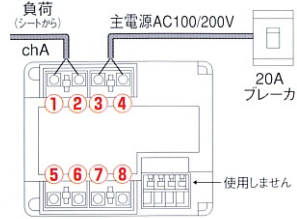
ぼからシート上にベニヤ3mmをビス止めし、その上に床暖房専用畳を置きます。

- ① ぼからシートのない根太上に地墨をつけます。
- ② 結線部分を拾い印(斜線)をつけます。
- ③ 結線部分以外の根太上地墨部分をビスで止めます。
- ④ 床暖房専用畳を置きます。

コントローラ・リレーボックスの取付

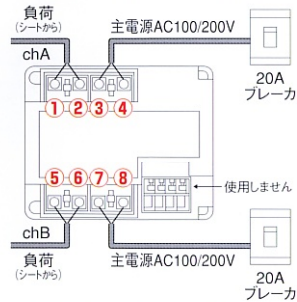
■電気系統図

●1回路用結線 (15A以内)



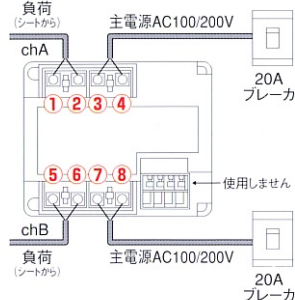
負荷が15A以内の場合、chA(①②③④)のみ使用します。

●1回路用結線 (15A以内×2)



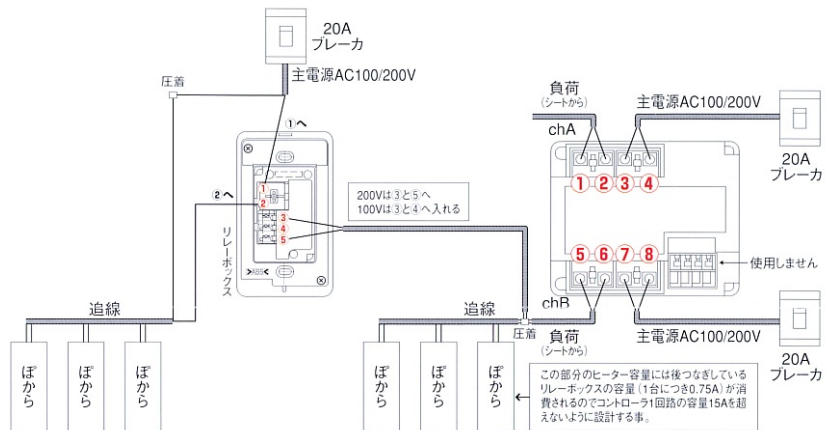
chA(①②)に負荷15A以内を、chB(⑤⑥)に負荷15A以内を接続します。(chA、Bは同時運転です。)

●2回路用結線 (15A以内×2)

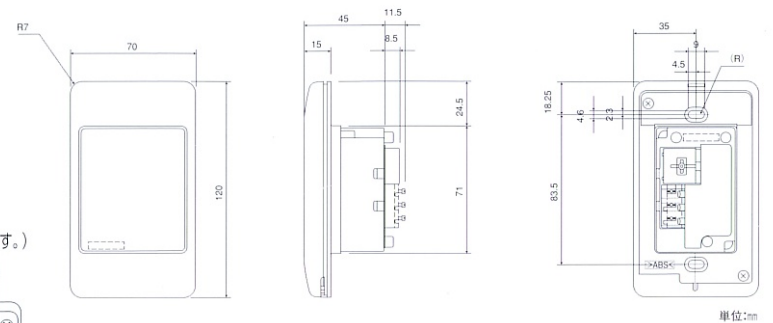


chA(①②)に負荷15A以内を、chB(⑤⑥)に負荷15A以内を接続します。(chA、Bは独立運転です。)

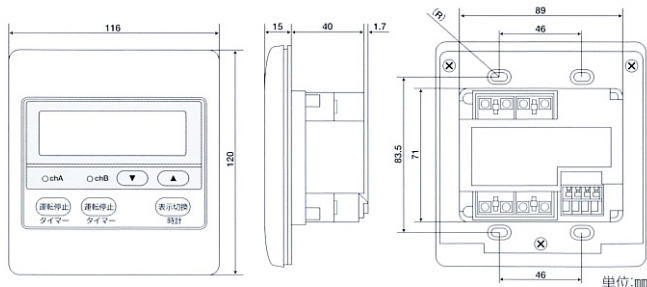
■リレーボックス結線図



■リレーボックス外形寸法図



■コントローラ外形寸法図 (1回路用・2回路用ともに同じ外形寸法です。)



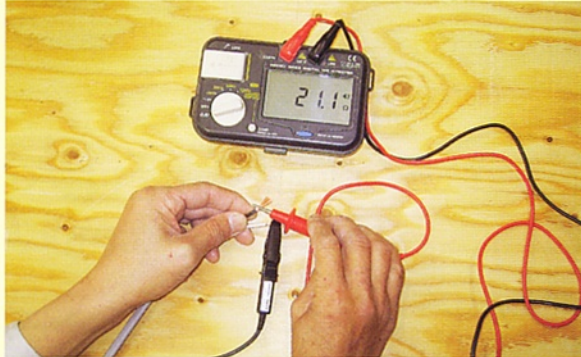
「合成抵抗値検査 & 絶縁抵抗検査」を必ず行ってください

重要

電気試験

ぽからシート敷設後と仕上材敷設後に必ず行ってください。

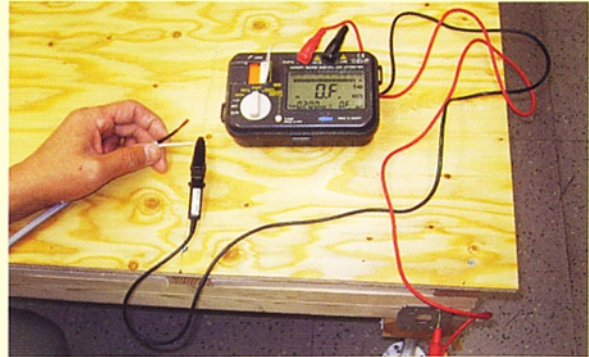
合成抵抗値検査



○テスターで同梱されている検査表を参照し合成抵抗値を確認します。

※合成抵抗値はPTC特性により、外気温度で左右されます。20℃環境で突入電流数値に対して±20%程度が範囲内です。夏場はプラス、冬場はマイナスの値となりますので、外気温度を考慮の上測定してください。

絶縁抵抗検査



○絶縁抵抗計 (DC500V) で漏電チェックを行います。

※50MΩ以上で合格としますが、コンパネが湿っている場合や雨天時には、50MΩ以下になる場合がありますので、湿気を考慮の上測定してください。

株式会社EMMAX

神奈川県川崎市高津区久地 1-15-2 TEL 044-820-8117 FAX 044-820-8110

<http://www.emmax.jp> info@emmax.jp